

(参考資料③)

令和5年度 冬期企画展 基本計画書

種 別	企画展	名 称	近代捕鯨の先覚者・岡十郎没後 100 年 クジラに生かされてきた萩・山口の人々
会 期	令和5年12月23日(土) ～令和6年3月3日(日)	実開催日数	60日間
開催場所	萩博物館 企画展示室	担当者名	(主担当) 松尾優平 (副担当) 清水満幸
共 催	萩市、萩市教育委員会ほか (調整中)	後援	山口県、山口県教育委員会ほか (調整中)
基本方針	経緯と課題	生活文化分野では、萩の人々にとって身近なテーマを設定し、市民をターゲットにした展覧会を実施してきた。コロナ禍以前より、冬期における来館者数が伸び悩む傾向があることと、「まちじゅう博物館」の中核施設として、地域資源の再発見、共有、継承につながる展示を今後も継続する必要があることから、以下の課題を設定した。 ・萩市民で共有を図りたいテーマの設定 ・利用が限られていた館蔵資料の積極的な活用 ・萩市及び県内を中心としたリピーター層の確実な獲得、および来館者層の拡大 ・展示テーマを活かした学校教育との連携 ・会期中の萩市、萩博物館からの情報発信による話題作り	
	テーマ	近代捕鯨の先覚者・岡十郎の没後 100 年を機に、クジラを通して、地域の食文化や伝統儀礼などの文化資源や、身近に接することができる多様な海について再認識する機会を創出する。	
	ねらい①	ミンククジラの全身骨格標本など迫力ある館蔵資料の活用や全国的にも特徴のある山口県の節分行事の紹介などにより、萩市民や来萩観光客への発信力をもった展示会を実現	
	ねらい②	展示を通じて郷土ゆかりの人物の業績や、今もクジラが寄り来る身近な海が存在を紹介することで、萩・山口地域と鯨の関係性と郷土への関心を高める	
	ねらい③	萩地域及び山口県下に今も根付く儀礼食や民俗行事を再認識する機会を創出し、次世代への継承を図る	
目 標	来場者数	4,500～5,500 人	
	ターゲット層	【年代】 中高年男女、小学生 3～4 年生 【属性】 ・地域の文化習俗に興味をもつ層、学習している層 ・冬期の来萩観光客	

		【エリア】萩市、山口県内
	その他指標	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回収率：総来場者数の 2%以上 ・観覧満足度（アンケートで展示に満足と回答する人の割合）：80%以上 ・展示理解度（アンケートで展示を理解したと回答する人の割合）：80%以上
実施内容	概 要	令和 5 年 (2023) が日本における近代捕鯨を牽引した岡十郎の没後 100 年となるのを機に、郷土ゆかりの人物の事績を振り返る。また、会期中に節分を迎えるため、萩地域をはじめ山口県では節分に鯨肉を食する文化が根付いていることを再認識するきっかけをつくり、今後の地域文化継承を促す。これらを通じ、多くの人々が鯨のもたらす恩恵によって「生かされてきた」ことを認識する機会とする。
	①主要展示資料	<ul style="list-style-type: none"> ・オスの骨格標本としては最大級のミンククジラ全身骨格標本 ・クジラがもたらす恩恵を示す、捕鯨用具のほか農耕用具など幅広い関連産業に纏わる資料 ・遠い異国まで訪ねて水産業振興に尽力した地域ゆかりの人物の事績を振り返ることのできる岡十郎の旅券などの関連資料（山口県文書館蔵） ・かつての給食風景を振り返ることのできる、古写真や現在提供される鯨肉を使った給食献立を再現した食品サンプルなど
	②関連行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・鯨肉を利用した限定メニュー開発などの萩博物館レストランとの共同企画 ・クジラを取り巻く海の生態系に存在する小さな生き物を見つけ出すワークショップ（「ちりめんじゃこ」中の「ちりめんモンスター」） ・地域の伝統儀礼に親しむことのできる豆まきなどの節分イベント（上記ワークショップと同時期開催）
	③広告宣伝・情報発信の手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター 300 枚を社会教育施設、商業施設を中心に配布 ・チラシ 20,000 枚を社会教育施設や市内の小学校などに配布 ・萩博物館 SNS による展示関連情報の定期発信
	④外部との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・萩博物館レストランなど飲食店と連携した鯨肉を利用した限定メニューの提供イベント ・これまで実施してきた学校栄養士会との連携によるアンケート調査の結果等を基に節分の鯨食文化に関する配布資料を作成・配布
	⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> ・会期中に展示に関するアンケート調査を実施
事業スケジュール	9 月中旬：見積合せ（次春期企画展と併せて業者選定を実施） 10 月下旬：展示制作開始 11 月下旬：広報宣伝開始 12 月 23 日（土）：開幕	